

この度はお買い上げありがとうございます。

防水・防滴仕様をお使いになる前に必ず、次の事項を読んで下さい。

1.防水・防滴仕様の構造

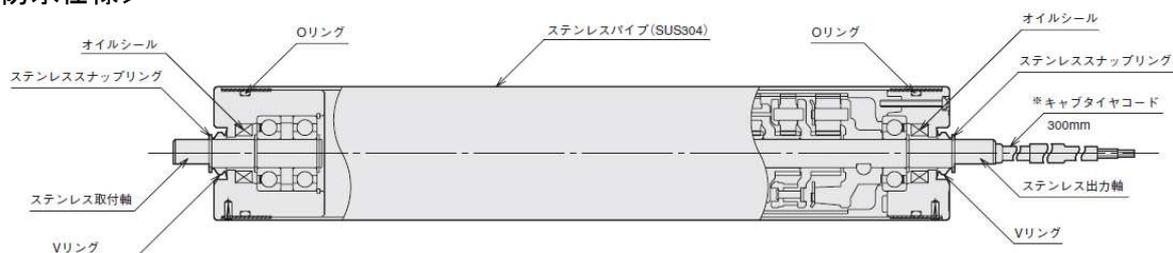
■防水・防滴仕様には、モータ内部への水の浸入を防ぐため、以下のような処理が施されています。

①モーターリード線(キャブタイヤコード)のシール処理

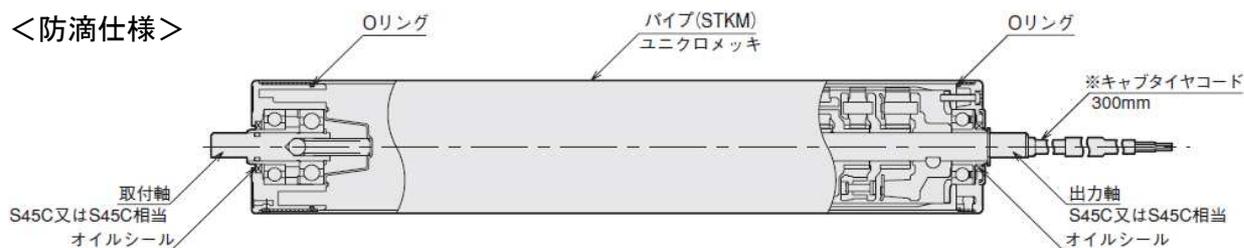
②取付軸・出力軸部はオイルシール付

③パイプとホルダー勘合部はOリング付

<防水仕様>



<防滴仕様>



《注意》

シール効果がなくなるとモータ部・減速ギヤ部等への水の浸入により、故障の原因となります。

2.防水・防滴仕様のモーターリード線(キャブタイヤコード)に関する注意事項

■モーターリード線(キャブタイヤコード)は原則として途中切断しないでそのまま使用して下さい。

《注意》

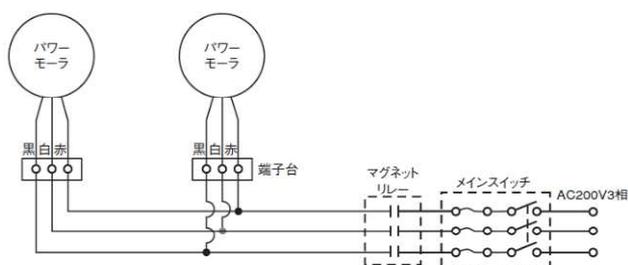
配線端部のシール効果がなくなります。

尚、どうしても切断処理が必要であれば、裏面作業手順書に基づいて作業願います。

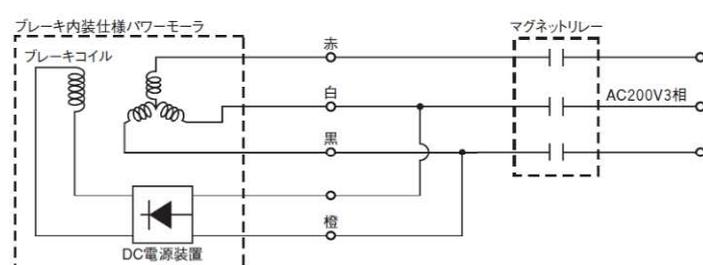
誤った手順で製品に不都合が生じた場合及びモーターリード線(キャブタイヤコード)切断時にモータ断線となった症状が見受けられた場合は、責任を負いかねます。

3.配線方法

[3相200V配線例]



[ブレーキタイプ配線例]



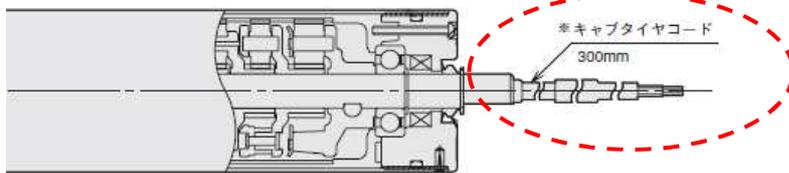
《防水・防滴仕様キャブタイヤコード端末処理の仕方について》

＜防水・防滴仕様キャブタイヤコードを切って使用する場合の留意点＞

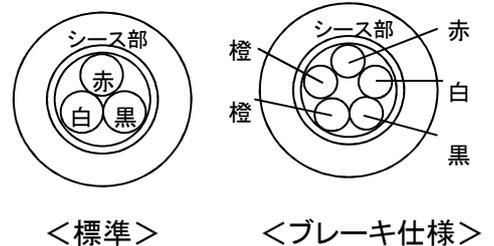
1. キャブタイヤコードの切断処理

1-1. キャブタイヤシース部のみをワイヤーストリッパー又は、ニッパで端面がフラットになるようにシース部をハギ取る。

【パワーモーラ略図】



【キャブタイヤコード切断面】



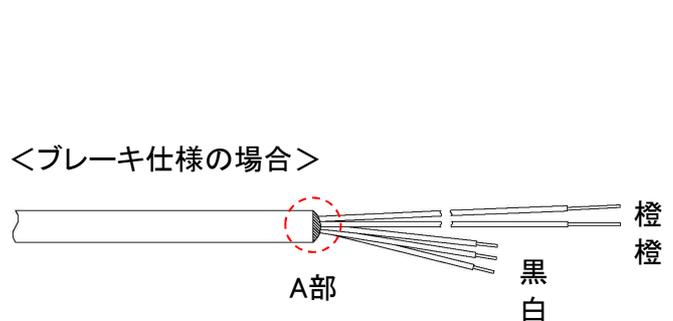
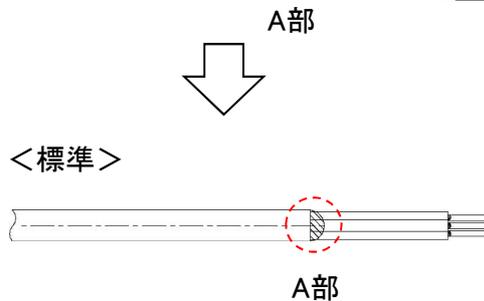
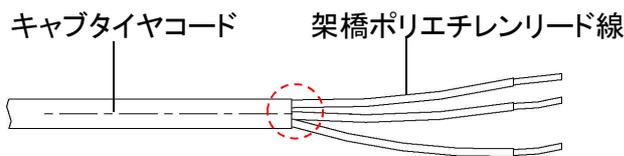
作業ポイント

2. シリコン処理

2-1. シリコンは東芝製TSE-392Wを金具取付側キャブタイヤコード部の図A部に塗布する。

※シリコンは30分間で硬化し始めますが、完全硬化には24時間(25℃)かかります。

【金具取付側キャブタイヤコード部図】



A部に東芝シリコンTSE-392Wを図のように塗布する

使用部品・材料

東芝シリコン TSE-392W

使用工具

ニッパ・ワイヤーストリッパー